

**ネクスティア生命
2012年度第1四半期末(2012年4月1日～6月30日)の業績を発表**

ネクスティア生命保険株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:今井隆)は、2012年8月14日、日本会計基準に基づく2012年度(平成24年度)第1四半期末の業績を発表しました。

ネクスティア生命は、2008年4月7日の開業以来、保有契約件数を順調に伸ばしております。また、不安定な市場環境においても十分に高い健全性を確保しております。

収入指標

- ・ 保有契約の年換算保険料は、ダイレクトチャネルにおける好調な販売により前年度末比6.8%増の1,817百万円となりました。
- ・ 保険料等収入は、前年同期比42.3%増の439百万円となりました。

収益指標

- ・ 経常収益が439百万円となる中、保険金等支払金180百万円、責任準備金等繰入額175百万円、事業費742百万円、その他経常費用355百万円、保険業法第113条繰延額△659百万円等経常費用を控除した結果、当期純損失は380百万円となりました。

財務基盤

- ・ ソルベンシー・マージン比率は1,019.2%となっており、十分に高い健全性を確保しております。

ネクスティア生命の代表取締役社長、今井隆は、次のようにコメントしています。「ネクスティア生命は、新契約件数は4,144件、新契約高は26,124百万円、保有契約件数は43,491件、保有契約高は349,401百万円となった。第1四半期においては市場における競争環境が激化する中、各種数値を伸ばすことができ、2008年4月7日の開業以来、保有契約件数は順調に増加している。」

さらに、今井隆は次のように述べています。「今後もネクスティア生命は、生命保険に対して様々なストレスを感じている皆さまの声に応え、インターネット技術を積極的に活用しより優れた利便性を提供できるよう、戦略的取組みを一層強化する。そして『カスタマーフレンドリーな保険会社』を目指していく。」

ネクスティア生命について

ネクスティア生命は 2008 年 4 月 7 日に日本初のインターネット専業生命保険会社として誕生した、AXA のメンバーカンパニーです。インターネット技術を活用した効率的な運営(少人数、ペーパーレス、営業用の店舗を持たないことなど)により、お求めやすい保険料で生命保険をご提供しています。

AXAについて

AXAは保険および資産運用の分野で世界をリードし、世界各国に 1 億 100 万人のお客さまを持つグローバル企業です。国際会計基準に基づく 2011 年度通期の売上は 861 億ユーロ、アンダーライニング・アーニングス(基本利益)は 39 億ユーロ、2011 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 790 億ユーロにのびます。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAIに上場されており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームにて取引されています。また、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。詳細はwww.axa.comをご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

ネクスティア生命保険株式会社 企画部広報課

TEL:03-5210-1540 FAX:03-5210-1542 E-mail:communication@nextialife.co.jp

<http://www.nextialife.co.jp/>

2012年度第1四半期報告

ネクスティア生命（代表取締役社長 今井 隆）の2012年度第1四半期の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	……	1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	3頁
3. 四半期貸借対照表	……	5頁
4. 四半期損益計算書	……	6頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	8頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	9頁
7. 特別勘定の状況	……	10頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	10頁
		以上

お問い合わせは、次にお願いたします。

ネクスティア生命保険株式会社 企画部 03-5210-1540

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2011年度末		2012年度 第1四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	40	3,326	43	107.6	3,494	105.0
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2011年度 第1四半期累計期間				2012年度 第1四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	3	273	273	-	4	104.0	261	95.4	261	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2011年度末	2012年度	
		第1四半期 会計期間末	前年度 末比
個 人 保 険	1,701	1,817	106.8
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	1,701	1,817	106.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	681	735	108.0

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2011年度 第1四半期累計期間	2012年度	
		第1四半期累計期間	前年 同期比
個 人 保 険	163	165	101.0
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	163	165	101.0
うち医療保障・ 生前給付保障等	77	74	96.6

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2011年度末		2012年度 第1四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	3,143	30.9	2,525	25.4
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-
有価証券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸付金	-	-	-	-
不動産	18	0.2	17	0.2
繰延税金資産	-	-	-	-
そ の 他	7,016	68.9	7,398	74.4
貸倒引当金	-	-	-	-
合 計	10,178	100.0	9,942	100.0
うち外貨建資産	-	-	-	-

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの）

（単位：百万円）

区 分	2011年度末					2012年度第1四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差損益		帳簿価額	時 価	差損益			
			差 益	差 損			差 益	差 損		
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他有価証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合 計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公 社 債	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
買入金銭債権	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

（注）本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券はありません。

(3) 金銭の信託の時価情報

該当する事項はありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2011年度末 要約貸借対照表 (2012年3月31日現在)	2012年度 第1四半期会計期間末 (2012年6月30日現在)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
現 金 及 び 預 貯 金		3,143	2,525
有 価 証 券		-	-
有 形 固 定 資 産		43	37
無 形 固 定 資 産		296	310
再 保 険 貸		18	15
そ の 他 資 産		6,676	7,053
(うち保険業法第113条繰延資産)	(6,570)	(6,928)
資 産 の 部 合 計		10,178	9,942

(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		1,082	1,258
支 払 備 金		118	185
責 任 準 備 金		963	1,072
代 理 店 借		8	7
再 保 険 借		23	24
そ の 他 負 債		294	238
未 払 法 人 税 等		3	0
リ ー ス 債 務		4	4
資 産 除 去 債 務		5	5
そ の 他 の 負 債		280	228
価 格 変 動 準 備 金		0	0
繰 延 税 金 負 債		412	435
負 債 の 部 合 計		1,821	1,965

(純 資 産 の 部)			
資 本 金		6,750	6,750
資 本 剰 余 金		5,590	5,590
資 本 準 備 金		5,590	5,590
利 益 剰 余 金		△ 3,984	△ 4,364
そ の 他 利 益 剰 余 金		△ 3,984	△ 4,364
繰 越 利 益 剰 余 金		△ 3,984	△ 4,364
株 主 資 本 合 計		8,356	7,976
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		-	-
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		-	-
純 資 産 の 部 合 計		8,356	7,976
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		10,178	9,942

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	〔 2011年度 第1四半期累計期間 2011年4月1日から 2011年6月30日まで 〕	〔 2012年度 第1四半期累計期間 2012年4月1日から 2012年6月30日まで 〕
	金 額	金 額
経 常 収 益	333	439
保 険 料 等 収 入	308	439
（うち保険料）	(299)	(424)
資 産 運 用 収 益	0	0
（うち利息及び配当金等収入）	(0)	(0)
そ の 他 経 常 収 益	24	0
経 常 費 用	600	794
保 険 金 等 支 払 金	91	180
（うち保険金）	(44)	(115)
（うち給付金）	(27)	(37)
（うち解約返戻金）	(1)	(3)
（うちその他返戻金）	(0)	(0)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額	75	175
支 払 備 金 繰 入 額	-	67
責 任 準 備 金 繰 入 額	75	108
資 産 運 用 費 用	0	0
（うち支払利息）	(0)	(0)
事 業 費	694	742
そ の 他 経 常 費 用	267	355
保 険 業 法 第 1 1 3 条 繰 延 額	△ 529	△ 659
経 常 損 失 (△)	△ 266	△ 355
特 別 損 失	-	0
固 定 資 産 等 処 分 損	-	0
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額	-	-
税 引 前 四 半 期 純 損 失 (△)	△ 266	△ 355
法 人 税 及 び 住 民 税	0	0
法 人 税 等 調 整 額	-	23
法 人 税 等 合 計	0	24
四 半 期 純 損 失 (△)	△ 267	△ 380

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2012年度第1四半期会計期間末

1. 保険業法第113条繰延資産の額は、6,928百万円であります。
なお、保険業法第113条繰延資産の償却方法は、定款の規定に基づき償却しております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	6,750	5,590	△3,984	—	8,356
当第1四半期会計期間末 までの変動額					
四半期純損失(△)	—	—	△380	—	△380
当第1四半期会計期間末 までの変動額合計	—	—	△380	—	△380
当第1四半期会計期間末 残高	6,750	5,590	△4,364	—	7,976

3. 金額は、記載金額未満を切り捨てて表示しております。

注記事項

(四半期損益計算書関係)

2012年度第1四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は1,090円64銭であります。
2. 金額は、記載金額未満を切り捨てて表示しております。

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2011年度 第1四半期累計期間	2012年度 第1四半期累計期間
基礎利益 A	△ 252	△ 343
キャピタル収益	-	-
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	-	-
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	-	-
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	-	-
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 252	△ 343
臨時収益	-	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	-
臨時費用	14	12
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	14	12
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△ 14	△ 12
経常利益 A + B + C	△ 266	△ 355

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2011年度末	2012年度 第1四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	2,022	1,295
資本金等	1,786	1,047
価格変動準備金	0	0
危険準備金	235	247
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性 資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額	242	254
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R ₁	186	196
第三分野保険の保険リスク相当額 R ₈	46	48
予定利率リスク相当額 R ₂	0	0
最低保証リスク相当額 R ₇	-	-
資産運用リスク相当額 R ₃	32	26
経営管理リスク相当額 R ₄	7	8
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,665.6 %	1,019.2 %

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び、第190条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当する事項はありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。